

オートマチック車の認識設定(初期設定)について

取り付け作業終了後または、受信機及びリレーユニットから専用ハーネスを外した後、車両バッテリー脱着後等、受信機及びリレーユニットの電源が遮断された時は、この設定が必要になります。設定を行いませんと、エンジンスターターは作動しません。下記の手順に従って、設定を行ってください。

操 作	受信機または、リレーユニットのアンサーバック音	備 考
イグニッションをONにする		受付時間10秒以内
「STOP」ボタンを押す	ピーピーピー…	受付時間10秒以内
シフトレバー「P」→「R」 または、フットブレーキを踏む※2	プププ…音色とスピードが変化	ゆっくり確実に
シフトレバー「R」→「P」 または、フットブレーキを放す※2	※1 ピピーで完了	設定完了
イグニッションOFFにする		

※1…パーキングポジションの配線をした場合、「ブーブブ」と先に鳴ります

※2…取り付ける車種、配線方法により、フットブレーキを使って設定を行う場合があります。

キーでのエンジン始動時のご注意

エンジンスターターのロック/アンロック機能はキーによるアイドル中では作動しません。

ドアタイマー作動中にキーを挿して「ON」にした後はリモコンによるロック/アンロック操作を行わないでください。ドアタイマーが終了すると、ロック/アンロック操作を行っても作動しないため、車内からキーを取り出せなくなります。

メーカー純正キーレスエントリー装着車についてのご注意

メーカー純正のキーレスエントリーシステム、電子キーシステムは、キーによるアイドル中に作動しないものがあります。その場合、エンジンスターターによるアイドル中にも作動しません。

エンジンスターターのロック/アンロック機能は、エンジンスターターによるアイドル中でも使用できます。

パーキングポジションの検出について

パーキングポジションの検出は通常、専用ハーネスのST1(緑)ラインを通じて自動で検出しますが、車種によっては検出できない場合があります。この場合、CN-2のパーキングポジション(青色線)を必要箇所に配線してください。Pポジション信号線の接続先が無い車両は、フットブレーキ信号線に配線を行う場合があります。

配線先等の詳細は取扱・取付説明書、車種別取付資料を参照してください。

オルタネーターのL端子電圧検出

受信機・リレーユニットは、車両バッテリー電圧の変化によりエンジンの始動判断を行います。バッテリー電圧の変化が小さい車種では、エンジン始動判断が自動でできない場合があります。

不具合現象①:セルモーターを駆動し、エンジン始動したのに、しばらくすると停止してしまう。 不具合現象②:不具合現象①を3回繰り返した後リセットする。

不具合現象③:セルモーターを駆動し、エンジンが始動しなかったのに再始動を行わない。

上記のような症状の場合下記に従って、L端子電圧の検出配線をしてください。

手順①: CN-2のL端子(茶色線)を配線する。(車種により別売りのハーネスが必要となる場合があります)

手順②: エンジンスターターにて始動後、始動判断がL端子検出になっていることを確認する。

配線先等の詳細は取扱・取付説明書、車種別取付資料を参照してください。